

※増刷に伴う変更点

ページ	箇所	変更前	変更後
11	物体色と顔色は見え方が違う	●顔色は同化が生じる	●顔色は同化するように見える
15	年表	1964年	PCCS表色系
19	表	青み寄りの個別心理	色白に見える
37	小タイトル	参考資料：PCCSのトーンの感情効果	参考資料：を削除
	小タイトル下説明文		本文を追加（3行目以降）： 図内に★印で表示したイメージは、該当のトーンを中心として、その他のトーンでも表現することができます。例えば、「明るい」というイメージはbトーンに限らず、明度が高めの色で幅広く表現することができます。
	トーン図		図内に★印で表示したイメージ： b 明るい s くだい、動的な lt 子供っぽい sf おだやかな、ぼんやりした d にぶい、くすんだ、中間色的 dk 大人っぽい p 弱い、女性的、若々しい、やさしい、かわいい ltg 落ち着いた、渋い g 濁った、地味な dk 男性的 W 新鮮な ltGy, mGy, dkGy スモーキーな、しゃれた Bk シックな、おしゃれな、締まった
50	目の構造と働き	●色の働き	●目の働き
51	目の構造図		図中に 盲点（視神経乳頭）、視神経 を明示
	目を構成する各部の働き	○錐体	L錐体、M錐体、S錐体、杆体 を総じて視細胞であることを表記
		約700万個が中心窩に集中して存在する	約700万個が中心窩付近に集中して存在する
55	上部の表	アナログ配色×色相	ドミナントカラー配色
		アナログ配色×トーン	ドミナントトーン配色
			ドミナントカラー配色（モジュール1 p80参照）
			ドミナントトーン配色（モジュール1 p80参照）

68	上部の表	右	色の属性により表現しやすいイメージ	表現しやすいスタンダードなイメージ
70	上部の表	右	色の属性により表現しやすいイメージ	表現しやすいスタンダードなイメージ
71	下図	左（男性）	Casual Business Style	Business Casual Style
72	上部の表	右	色の属性により表現しやすいイメージ	表現しやすいスタンダードなイメージ
73	下図	左（男性）	Casual Business Style	Business Casual Style
74	上部の表	右	色の属性により表現しやすいイメージ	表現しやすいスタンダードなイメージ
75	下図	左（男性）	Casual Business Style	Business Casual Style
76	図中央のイメージ表現		表現しやすい本来の春のイメージは 配色の工夫で表現できる春のイメージは	スタンダード アレンジ
77	図中央のイメージ表現		表現しやすい本来の夏のイメージは 配色の工夫で表現できる夏のイメージは	スタンダード アレンジ
78	図中央のイメージ表現		表現しやすい本来の秋のイメージは 配色の工夫で表現できる秋のイメージは	スタンダード アレンジ
79	図中央のイメージ表現		表現しやすい本来の冬のイメージは 配色の工夫で表現できる冬のイメージは	スタンダード アレンジ
89	検定試験練習問題	4 [D]	ブルーベースの青のニットを着ると色が <u>白く透明感が出て見える</u> のは、	ブルーベースの青のニットを着ると色が <u>白く、収縮して見える</u> のは、